

大阪府森林組合通信

2013.11 Vol.25

8月27日 第12回大阪府森林組合通常総代会を開催しました。



当組合は第12回通常総代会を8月27日午後2時より、国民會館大ホールにおいて、大阪府の西山潤二室長、高槻市の濱田剛史市長をはじめ、各方面より多数のご来賓をお迎えし、総代246名中186名(内委任状63名)の出席により開催しました。

議案は

- 第1号議案 「平成24年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について」
 - 第2号議案 「平成25年度事業計画の設定について」
 - 第3号議案 「平成25年度借入金の上限度額の決定について」
 - 第4号議案 「平成25年度余裕金預け入れ先の決定について」
 - 第5号議案 「役員報酬の決定について」
- を上げさせていただきます、各議案とも原案通り可決・承認をいただきました。

ご挨拶

大阪府森林組合

代表理事組合長 古川 光和



さて当組合における平成24年度の決算状況につきまして、かなり厳しい状況であったと、ご報告させていただきます。

各事業とも要因はさまざまですが、低調な結果に終わりました。

特に国の景気及び雇用対策事業の廃止や一部の指定管理施設からの撤退、加えて森林整備事業における他社参入による受注機会の減少など、大規模な収益構造の変化にさらされました。

このような状況を受け、事業管理費を計画より8,000万円以上を削減するなど、さまざまな経営努力をいたしました。平成24年度決算額は業務報告書にも記載のとおり、総収益98,955万円、当期損失金3,023万円を計上するに至りました。

平成24年度事業計画でご承認賜りました1億円の積立金取り崩しを、7,000万円余りにしたことでも一因ではございますが、二カ年連続での単年度赤字決算という結果になりましたことにつきまして、役員一同、責任を痛感しております。

しかし、まずは赤字体質からの脱却と健全な経営を実現できる組織改革が第一と考えており、今年度、役員一同が全力で取り組んでまいり所存でございます。

本総代会では平成24年度の事業報告や平成25年度の事業計画など、第1号議案より第5号議案までの5議案を上げさせていただきます。

総代の皆様には慎重審議いただき、とともに、忌憚のないご意見を賜りながら、よりよい森林組合づくりに邁進していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

組合員の皆様におかれましては平素より組合運営に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末に発足した第2次安倍内閣が打ち出した各種の経済対策は、停滞していた日本経済へ良好な刺激を与えましたが、TPPによる農林業の影響など、政権の動向を注視している状況です。

林業界においては、林業再生プランが国の造林事業の主施策となりました。その結果、搬出された木材が有効な森林資源として取り扱われ、国の木材自給率の増加に寄与しております。

府内においても同プランを実施し、昨年度、200ha超の間伐と12,000mの作業路、3,000mの木材搬出という実績を残しました。

本事業は森林所有者の方々のご理解と協力が必須であり、事業にご協力いただいた組合員の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、今後、計画が立案される地域の組合員の方々におかれましては、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Contents

第12回大阪府森林組合通常総代会を開催	1	高槻森林観光センター	4
平成24年度決算報告	2	台風18号による被害について	5
平成25年度事業計画	3	森林・山村多面的機能発揮対策事業	5
組合の経営基盤を揺るがす要因	3	「木根館」「ラ・フォレスト」イベント案内	6
収益減少に対する経営努力	3	日々活躍 組合職員紹介	6
収支改善に向けた取り組み	3	組合にお任せください 特殊伐採・草刈	6
おおさかの木でつくる「木の家」	4		

平成24年度決算報告

貸借対照表 (平成25年5月31日現在)

(単位：円)

科目	内訳	小計	合計	科目	内訳	小計	合計
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債			
現金・預金		831,067,014		買掛金		3,750,292	
さきもり基金		506,013,829		未払金		116,981,018	
受取手形	24,580,061			預り金		10,009,642	
売掛金・未収金	45,090,562			その他		28,281,904	
上記2項目の貸倒引当金	△ 800,000			流動負債合計			159,022,856
		68,870,623		固定負債			
たな卸資産		32,970,957	1,453,275,621	長期未払金		6,644,400	
その他		14,353,198		農林漁業資金借入金		30,196,427	
流動資産合計				林構施設借入金		85,565,292	
固定資産				預り保証金		10,062,500	
有形固定資産	1,141,727,893			退職給付引当金		154,484,744	
減価償却累計額	△ 708,342,742	433,385,151		役員退任慰労金引当金		11,264,025	
無形固定資産		361,030		基金預り金	504,000,000		
				組合拠出金	△ 88,100,000	415,900,000	
外部出資				その他引当金・積立金		502,758,028	
系統出資金		37,541,920		固定負債合計			1,216,875,416
系統外出資金		18,167,000		負債合計			1,375,898,272
外部出資金合計		55,708,920		(資本の部)			
その他の固定資産				出資金		202,972,000	
農林漁業資金貸付金	30,196,427			出資金合計			202,972,000
貸倒引当金	△ 350,000	29,846,427		剰余金			
その他		5,000,000		準備金・積立金		376,273,935	
その他の固定資産		34,846,427		当期末処分剰余金		22,432,942	
固定資産合計			524,301,528	剰余金合計			398,706,877
資産合計			1,977,577,149	資本合計			601,678,877
				負債・資本合計			1,977,577,149

1. 受取手形の割引高は0円である。
2. 受取手形の裏書譲渡高は0円である。

損益計算書 (平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(単位：円)

科目	小計	合計
I 事業総損益		
1. 収益	989,553,462	
2. 費用	816,269,177	
事業総利益		173,284,285
II 事業管理費		
1. 人件費	206,379,050	
2. 旅費交通費	3,854,000	
3. 事務費	5,527,791	
4. 業務費	4,126,135	
5. 諸税負担金	10,154,767	
6. 施設費	81,054,545	
7. 雑費	1,623,350	
事業管理費計		312,719,638
事業損失		△ 139,435,353
III 事業外損益		
1. 事業外収益	50,442,565	
2. 事業外費用	13,186,781	
事業外損益		37,255,784
経常損失		△ 102,179,569
IV 特別損益		
1. 特別利益	73,337,821	
2. 特別損失	118,251	
特別損益		73,219,570
V 利益剰余金		
税引前当期損失金		△ 28,959,999
法人税及び住民税額		1,276,000
当期損失金		△ 30,235,999
前期繰越剰余金		52,668,941
当期末処分剰余金		22,432,942

部門別損益計算書

(単位：円)

部門別	費用	収益	損益
指導部門	2,426,429	2,532,821	106,392
販売部門	116,409,083	123,819,447	7,410,364
加工部門	105,012,493	99,770,771	△ 5,241,722
森林整備部門	592,421,172	763,430,423	171,009,251
合計	816,269,177	989,553,462	173,284,285

平成24年度剰余金処分案

(単位：円)

摘要	積算内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金			22,432,942
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金			
2. 任意積立金			0
III 次期繰越剰余金			22,432,942

平成25年度事業計画

1 管理運営の基本方針

国内の森林・林業においては、造林補助体系が森林経営計画制度と森林環境保全・直接支援事業に改変され、林業の新たな展望が示される一方で、需要を上回る間伐材が市場に供給され、木材価格の下落を招いており、国レベルでの木材需要の喚起が期待されます。

当組合を取り巻く環境も厳しさを増し、大阪府発注の保安林や府営林管理事業においては、他社の参入などによる受注機会の減少など森林整備部門での収益確保が困難な状況となっています。

同時に森林整備部門を補完する森林リサイクル事業のような民間発注の事業においても、同業他社間での過当競争により事業単価が下落し、事業量を確保しても収益の減少を招いております。

共販事業においては利用間伐事業の推進により、市場での取扱数量は確保したものの木材価格の下落により、手数料収入は減少しています。

このように当組合をとりまく環境が厳しい状況を鑑み、組合経営の合理化や役員報酬のカット、2カ年にわたる職員給与の削減や退職勧奨制度の執行をはじめ、固定経費を圧縮するためのさまざまな施策を推進してまいりました。しかし過去2カ年は赤字であり、平成25年度においても残念ながら赤字を見込む予算とならざるを得ません。

この状況を打開するため、今年度においても昨年同様、固定経費抑制を継続するとともに、事業の

受注機会の拡大を目指す営業活動などを推進し、収支均衡に取り組めます。

一方で地域社会や林業関係者により強く支持される組織に改変し、森林組合活動を維持できるようにする必要があります。

そのため組合員のご意向を踏まえ、大阪府や市町村とも協議し、大阪府森林組合の分割も一つの検討課題として、最適な組織に改変するための取り組みを進めます。

平成25年度損益計画書

1 部門別損益計画

(単位：千円)

部門	費用	収益	損益
指導部門	2,365	2,358	△7
販売部門	187,269	207,732	20,463
加工部門	126,496	149,574	23,078
森林整備部門	595,936	789,054	193,118
合計	912,066	1,148,718	236,652

2 事業総損益

(単位：千円)

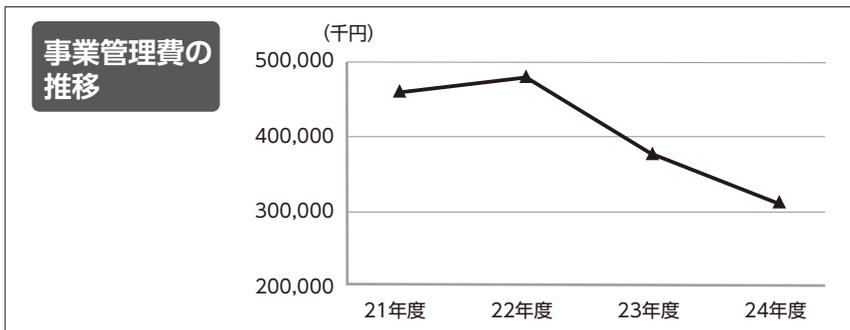
I. 事業総利益	236,652
II. 事業管理費	298,185
III. 事業外損益	1,000
IV. 特別損益	0
V. 利益剰余金(税引前剰余金)	△60,533

■収益減少に対する経営努力

収益額の減少に対応し、事業管理費の縮減に注力した結果、平成22年度は478,989千円で平成24年度は312,719千円と約166,270千円も合理化により減少させてきました。

事業の減少に比べて赤字が少ないのは、生産性の向上と合理化の成果であると考えています。

今後もなお一層、生産性の向上と経営の合理化に努めていく所存です。



■収支改善に向けた取り組み

厳しい経済環境の中で、**1 生産性の向上と経営合理化**や**2 課題施設の改善**及び**3 事業開拓**による収支改善が必要です。また、合併後12年を経過した**4 組織改革**を進めなければなりません。

このことは組合の置かれた厳しい状況を勘案し、経営改善に向けた計画の立案実行を速やかに行うものとします。

1 生産性の向上と経営合理化

平成24年度中に実施した合理化をさらに進めますが、平成24年度に生じた赤字額130,000千円は管理費に占める人件費の60%に相当することから、人件費の削減だけでは限界があり、組織内に総務担当副組合長を長とする組織合理化委員会を設置を検討するなど、さらなる合理化を進めるものとします。

2 課題施設の改善

課題施設の改善は平成24年度

に小委員会で検討した成果を着実に実行するとともに、担当副組合長を長とする委員会の設置を検討するなど、逐次評価、見直しを進めます。

3 事業開拓

収入の増大を図るため、事業開拓メニューを検討し、政治力を生かしたトップセールスと職員セールスとを組み合わせ、有機的かつスピーディに開拓するものとします。

4 組織改革

収支改善を達成するため、営業強化、地域連携、責任体制の明確化、意思決定とコミュニケーションの円滑化を図れるように組織改革を行うものとします。

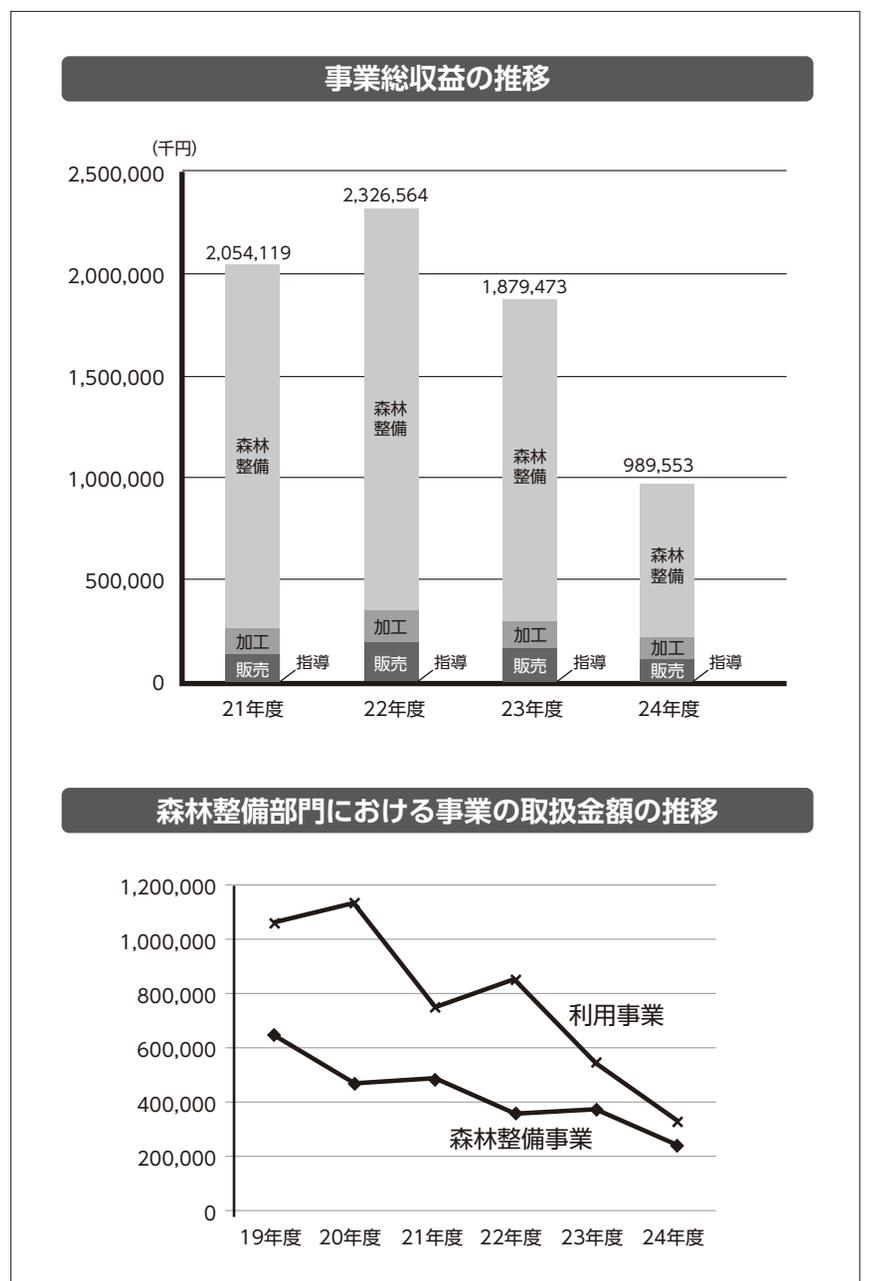
このような取り組みを進め、いち早く赤字体質の脱却を図り、平成26年度は黒字化を目指すものとします。

■組合の経営基盤を揺るがす要因

当組合は平成22年度に事業収入23億2656万円を計上しました。平成23年以降、減少傾向が顕著となり、平成24年度においては事業収益9億8955万円にとどまる結果となりました。

特に公共事業における森林整備部門の落ち込みが厳しく、その要

因としては国の補助事業体系の刷新により、施業対象森林に条件が課されたことによる事業の減少、公共事業全般にいえる事業規模の縮小と森林事業における他社参入による受注機会の減少が挙げられます。併せて景気対策事業の終了も拍車をかけました。



おおさかの木でつくる「木の家」

大阪府森
林組合建
築事業部

2ヶ月限定のモデルハウス 「庭とつながる家」

前回の本紙で紹介した期間限定のモデルハウスの公開を9月15日に開始したところ、たくさんのお客様にご見学いただき、11月13日をもって終了いたしました。

このモデルハウスは、施主様であるS様が入居されるまでの間、公開に承諾いただいた結果、実現したものです。

設計は清水正勝設計研究室が担当。その特徴は板塀という自然素材を用いて、外部からソフトに遮断された中庭を建物の中心部に配置していること。

この中庭には各居室が面しており、プライバシーを保ちながら良好な採光と通風を確保しています。広い玄関から室内に入ると飽きのこない、シンプルで機能的な居室が配置されています。



外観は伸びやかな屋根が特徴



奥行きのある玄関

しかし細部に目を凝らすと、スギの柾目板を使用した特注の玄関扉とシューズクロークの建具、玄関ホールに用いた竹のフロアリングをはじめ、クワ・タモ・シオジ・ウォールナット・チークなど、こだわりの天然素材が各所に用いられています。

一方で長期優良住宅に認定された建物は耐震等級2、省エネ等級4と構造なども高い性能を誇ります。



オープンなダイニング

本モデルハウスは終了しましたが、12月中旬ごろ、河内長野市旭ヶ丘において完成見学会を催す予定となっておりますので、ぜひお越しください。

一園一室 木のぬくもり 推進モデル事業

大阪府では、子どもたちの健全な成長を育むとともに、「木の持つすばらしさを広くPRするため、府内の民間保育所などを対象とした「一園一室 木のぬくもり推進モデル事業」を公募されました。

この事業は、保育園などの一室以上を木質化する工事に大阪府の助成が得られるというもので、その木材は地域産材（おおさか材）を用いる提案を優先採択するという公募要件があります。

結果、府内各地より13の提案が採択され、おおさか材で設えられた子どもたちの学び舎が完成しつつあります。

当組合では「ウッドベイスかわちながの」からの木材の出荷とともに一部、建築事業部で施工も担当させていただきました。

子どもの笑顔のそばに木材がある空間を今後も増やせるよう、おおさか材の普及に努めたいと考えています。



子どもたちに木のぬくもりを

建築事業部

0120-630-854

ホームページ

<http://www.sinrin.org>

高槻森林観光センター

TEL: 072(688)9400
URL: <http://www.o-forest.org/center.html>

高槻森林観光センターがある高槻市檜田地区は、マッチョよりも一足早く秋の訪れが感じられ、道路脇の気温計の思いのほか低い気温を見て驚くこともしばしば。

ほんの少し前まで子どもの歓声がこだましていた田能川も、今は穏やかな水の流れの音が聞こえることも。今年も毎年恒例のホタル観賞会、鮎つかみや流しそうめんなどの夏祭りを行い、大勢のお客様をお迎えし、楽しい思い出づくりのお手伝いをさせていただきました。これからの季節、違った表情を見せる観光センターの楽しみをご紹介します。

冬の一押し「ぼたん鍋」

木々の葉が色づき始めると、観光センターは鍋の季節到来です。

昨年、忘年会・新年会のメニューとして大ブレイクした冬季限定の「ぼたん鍋」をはじめ、観光センター名物の「地鶏のすき焼き」、他では食べられない「キジ鍋」など、野趣あふれるお料理で、お迎えいたします。

特にオススメは、4名様以上で、お鍋料理をご予約いただくコース。

温泉の無料入浴と高槻駅までの無料送迎がセットになっています。

気の合うお友達とおいしいお鍋とお酒で大いに盛り上がれますよ。

さらに8名様以上の予約であれば高槻市内のご希望の場所（マイクロバスの進入可能地）までお迎えに上がります。

また組合員様向けのサービスとして、本紙をご持参いただくとお1人様につき、さらに500円キャッシュバックさせていただきます。

この機会に高槻森林観光センターに、ぜひお越しください。



ぼたん鍋

大好評 朝市

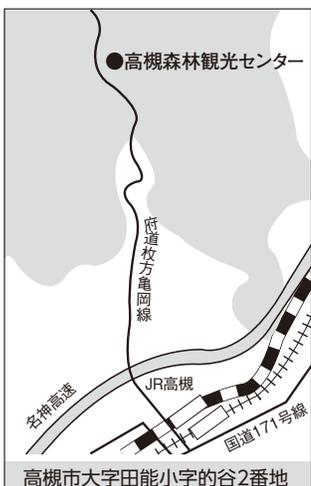
季節の野菜が店頭で並ぶ朝市。これからは白菜・ダイコン・菊菜など鍋物にぴったりの冬野菜の入荷が続々と始まります。

珍しいところではキクイモ。漬物にしたりサラダにしたりと好みに応じた調理でお召し上がりいただけますが、糖尿病や血糖値を下げる効果があるとかないとか…。

ぜひ一度、お試してください。



キクイモ



高槻市大字田能小字的谷2番地

台風18号による被害について

去る9月15～16日に西日本から中部・北陸地方に甚大なる被害を引き起こした台風18号。各地で大雨による被害が発生しました。

京都・滋賀・福井には運用以来、初めてとなる特別警報が発令され、京都の桂川においては渡月橋付近で氾濫し、すさまじい濁流に風光明媚な観光地が蹂躪される映像は、皆様の記憶に新しいのではないかと思います。

一方、大阪府内においても能勢町内で9月15日午前10時からの24時間で299ミリ、河内長野市で227ミリの降雨を記録。

一時、大和川に氾濫による避難指示が出されるなど大混乱を招くとともに、交通においても府道6号線(枚方亀岡線)や府道61号線(堺かつらぎ線)が通行止めになるなど、大きな被害が発生しました。



河内長野市滝畑地区

また森林の災害も林道の崩落や山腹崩壊、倒木などが府内各地で多発しました。

特に河内長野市・千早赤阪村地域では、林道施設への被害が50件以上、被害額1億円にも上るといふ試算もあります。

各地で猛威を振った台風18号による被害は、10月4日に激甚災害の指定が政府で閣議決定されました。

当組合としても1日でも早い災害復旧に向け、さまざまな活動を進めています。

今回、大阪府内における森林に関わる災害では、幸いにも人的被害は発生しませんでした。民家の後背地にまで森林が隣接する地区も散見されます。当組合では、森林が発生源となる災害を防止するため、「防災林」という考えの方々と協働して行政に提案するなど、新たな取り組みを進めたいと考えています。

最後になりましたが、今回の惨禍で被害に合われた方に、心からお見舞い申し上げます。被害地においての1日も早い復興を祈念いたしております。

木材市況

昨年度より、本格的に事業が開始された利用間伐を目的とした森林環境保全・直接支援事業により、木材の出材は増加傾向にあります。

特に本年8月以降に和泉市内で開始された事業地から安定的に良材が出材されており、原木市も活気を取り戻しつつある状態です。

併せて、低値安定傾向が続いていた原木価格のうち、ヒノキ一等材料においては若干、相場が持ち直す傾向が見られます。

その中で10月18日の通常市においては、ヒノキ元木末口38cmが170,000円/m³と高額取引されるケースも見受けられました。

現在、ヒノキ・スギの一等材料は下記価格で推移しています。

- ヒノキ4m末口14～30cm 12,000～20,000円
- スギ 4m末口16～30cm 7,000～12,000円

木材相場は一部持ち直す傾向がみられるとはいえ、まだまだ低値の状況ではありますが、公共施設の木質化など、新たな木材需要の喚起に向けて組合として取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

■木材市況 平成25年6月～25年10月末

樹種	取扱数量	平均単価	売上高
スギ	527.760m ³	9,475円/m ³	5,000千円
ヒノキ	1,122.993m ³	23,690円/m ³	26,603千円



里山 (高槻市)

この事業では地域住民が活動の主役となり、地域が抱える里山林の問題を解決する活動メニューとして、①地域環境保全タイプ(里山林保全活動と侵入竹除去、竹林

里山林を何とかしたい 森林・山村多面的機能発揮 対策事業のご紹介

日本の中山間地は民家と裏手の里山林というのが代表的な原風景で、そこから得られる薪・炭・落葉など生活と密接に結びついて森林と人の共生関係を築いていました。

その里山林は燃料革命以後、人との共生関係が崩れ、管理放棄や荒廃森林につながっていきます。

このような状況を鑑み、林野庁では地域住民が森林所有者、NPO法人、民間団体などとともに活動組織をつくり、里山林の保全管理や資源を利用するための活動に支援する「森林・山村の多面的機能発揮対策事業」を創設されました。

3カ年計画の初年度は大阪府内で11件の事業をサポートする予定です。

整備活動)、②森林資源利用タイプ、③森林空間利用タイプに分け、定められた助成単価を支援するものです。

あくまでも住民が主役ではあるものの、混み合った竹林や大径の広葉樹伐採など、住民の方々だけでは手に負えない作業もあります。そこで森林組合がお手伝い。手に負えない作業を一手に引き受けて、地域の里山林に関する問題解決に住民の方々とともに取り組めます。

3カ年計画の初年度は大阪府内で11件の事業をサポートする予定です。



森林ボランティア作業

大径木伐採あり、竹林整備ありと施業種はさまざまです。昨今、薪や炭、シイタケほだ木など里山林から得られる恵みも徐々に見直されてはじめており、この事業をきっかけに共生関係の再構築を住民の方々と汗を流しながら進めたいと考えています。

現場のニーズ



活動メニュー

- 【地域環境保全タイプ】
- 里山林景観を維持するための活動
 - 侵入地区の伐採、除去活動



- 【森林資源利用タイプ】
- 集落周辺の広葉樹などの搬出活動



- 【森林空間利用タイプ】
- 森林環境教育の実践

「木根館」「ラ・フォレスト」イベント案内

南河内林業総合センター「ラ・フォレスト」と河内長野市立林業総合センター「木根館」では、木と触れ合えるワークショップや奥河内を拠点に活動される作家の企画展を多数開催しています。

中でも、ラ・フォレストで初の開催となる彫刻家・橋本康彦氏の作品展をご紹介します。橋本氏は、彫刻家として国内外で広く活躍され、現在は千早赤阪村を拠点に活動されておられます。同作品展では、世界最古の漫画とも言われている約900年前

の絵巻物「鳥獣戯画」を彫刻で再現した見応えのある連作が並びます。橋本氏は神話や民話を題材にした作品づくりの中で、この「鳥獣戯画」の世相風刺的な面、そして躍動的に飛び回る動物たちを彫刻で表現することに魅力を感じたそうです。

さまざまな動物が人間の仕草をまねて遊び戯れる姿は、ただ面白いだけではなく、その時代の世相を表現しているのです。イベントの詳細などについてはお気軽に各施設へお問い合わせください。

催し一覧

開催施設	イベントタイトル	内容	開催日	定員	備考
フォレスト	La foresta木工教室	当地に工房を構える二人の木工作家が基礎から高度なテクニックまで丁寧に指導する本格木工教室	隔週金曜日 毎週土曜日	-	募集中
フォレスト	木彫り塾	千早赤阪村在住の木彫家を講師に迎えての木彫教室	毎月第1日曜日	10名	募集中
フォレスト	木彫り補習塾	千早赤阪村在住の木彫家を講師に迎えての木彫教室	毎月第3土曜日	10名	募集中
木根館	千葉 圭介展	河内長野市在住の木工パズル作家の動物や絵本をモチーフとしたぬくもりのある作品展	平成25年11月15日 ～12月26日	-	予定
木根館	木工教室 ～花フレーム&イーゼル～	大好評の簡単な木製キットの花フレームとイーゼル製作 (大きさ巾80×奥行130×高さ280(610))	平成25年12月5日	18名 × 2回	予定
フォレスト	フレッシュX' masリースづくり	木の枝や葉、実などを使って自然の恵みいっぱいリースづくり	平成25年12月15日	10名	予定
フォレスト	彫刻家・橋本 康彦 鳥獣戯画木彫展	江戸時代の風刺絵巻物「鳥獣戯画」を彫刻で再現した連作の展示	平成26年1月12日 ～1月25日	-	予定
木根館	木工教室 ～ままごとキッチンづくり～ 全3回コース	人気の「おおさか河内材」を用いた木工教室 お子さんやお孫さんへのプレゼントにぴったりの木のぬくもりが感じられるミニチュアキットの製作	平成26年1月26日～	12名	予定
木根館	マエダ ディスケ展	「木彫フォークアートおおよ」で受賞した若手作家の作品展	平成26年1月31日～	-	予定



鳥獣戯画 木彫

■ラ・フォレスト
0721-70-2220
ホームページ
<http://www.sinrin.org/foresta>

■木根館
0721-64-8151
ホームページ
<http://www.sinrin.org/kinkonkan>

組合にお任せください

特殊伐採・草刈

「庭木が大きくなりすぎて手に負えない」

「庭木の剪定、どこに頼めばいいの？」

「草を刈るのがたいへん」

森林組合ならよろず請け負います。

お見積は**無料**です

お気軽にお問い合わせください

■豊能支店 072 (734) 0125

■三島支店 072 (698) 1121

■南河内支店 0721 (63) 0850

■泉州支店 0725 (58) 2025

日々活躍 組合職員紹介

今回は本店の堀切修平さんを紹介します。

堀切さんは河内長野市天見の出身で、自宅の周辺を囲む山や森林に親しみながら幼少時代を過ごしました。

しかし最初に就職したのは大手自動車会社。

配属も東京となり、このまま森林から遠く離れた人生を送ることになるかという矢先に、森林組合で仕事をされていたお父様が若くして急逝。

地元へ帰ったところ、当時の大阪府森林組合連合会から転職の誘いを受け、現在の礎を築くスタートを切ります。

大阪府森林組合の合併時には、連合会の指導的役割を果たし、スムーズな合併作業に尽力されました。

合併後は主に総務部門の担当として、行政との折衝や検査の対応などをこなすことで、周囲

の信用を厚くし、現在に至ります。

人の話を聞き、諸事、柔軟な対応を見せる一方で、一度、手がけると独りで最後までやり通す意志の強い一面も。そのため帰宅が深夜に及ぶことも数え切れません。

自動車会社に就職するほどの無類の車好きですが、今は2児を抱えるマイホームパパらしく、車好きはミニチュアカー集めで慰めています。

先行き不透明なこれからの組合運営には不可欠な人材であり、さまざまな場面で強いリーダーシップを発揮することが期待されます。



堀切 修平さん (左)



丸大食品

心に残る贈り物

丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます

大阪府森林組合の皆様には特別価格でご案内申し上げます。同封のチラシをご覧ください。

丸大食品株式会社 関西特販営業課
〒557-0063 大阪市西成区南津守2-1-10
TEL 06(4398)3038 FAX 06(4398)3063